



いじめ対応研修講座

茨城県教育研修センター 教育相談課 ☎0296-78-3219

組織で対応！「いじめ見逃しゼロ」に向けて

いじめ対応研修講座は、2年間をかけて、県内全ての公立学校（小・中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校）から一人ずつ先生方が参加し実施しています。今年度は、県南地区と県西地区の学校が対象となっております。県南地区は10月23日(水)、県西地区は10月30日(水)に開催しました。合計431人の教員が参加し、自校の「学校いじめ防止基本方針」の見直しやいじめが起きた際の早期対応を想定したロールプレイなどに、緊張感をもって取り組む様子が見られました。

○午前の講義・演習「いじめ問題の現状と課題」



いじめの問題が深刻化するのには、一部の教員の抱え込みによるものであることは、報道やこれまでの調査で広く知られているところです。

そこで、国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター主任研究官の宮古紀宏先生を講師にお招きし、いじめの問題を組織的な対応につなげるために、どのような手立てを講じていかなければならないのかについて、具体的にわかりやすくご講義いただきました。

講義では、いじめの問題に向き合い、しっかりと認知している学校と、そうでない学校の組織風

土にどんな違いがあるのか、いじめの問題に対して組織的にうまく機能している学校の教員から聴き取った生の声をご紹介いただきました。

講義を受けた受講者の感想には「宮古先生の講義を聴く中で、いじめに対する認知の意識を高めていく必要性を強く感じました。」「いじめを起こさせない、いじめを早期発見できる学校の体制づくりが大切であると感じました。」「学年主任の学年経営は第一次的対応の鍵となるというお話が大変心に残りました。」等の記述が見られました。多くの受講者にとって、いじめの未然防止、早期対応に向けた組織作りの大切さを実感できた時間となったようです。

○午後の講義・演習「いじめ問題の理解と対応」

午後の講義で「いじめの定義の捉え方」、「いじめ問題の対応」等について理論を学んだ後、各校の「学校いじめ防止基本方針」がいじめ問題発生の際にしっかりと機能するものになっているか、チェックリストに基づき見直しを図りました。その後、各グループに分かれて、いじめの事案を想定した「学校いじめ対策組織」のロールプレイを全員参加で行いました。

受講者の感想には「いじめ対策組織のロールプレイを行ったので、とても実のある研修でした。今回の研修で学んだことを学校に伝達・還元したいと思います。」「本校のいじめ防止基本方針を見直す良い機会となりました。今後の対応に役立つものと確信しています。」等の記述が見られました。これらの感想から、多くの受講者が、いじめの問題に組織的に取り組むための示唆をたくさん吸収できたことがうかがえます。

本研修で学び得たことを生かし、チーム学校で「いじめ見逃しゼロ」を徹底していくことを強く願っております。